

1. HMIプロトを基にして改修を行う。
2. $\beta 2$ 巧拙・状態aarの改良版ベースを組み込む。
 1. 巧拙・状態へのパラメータは手動にてスマホ内に設置を想定
3. CAN信号方式は、下記の 1 or 2 を想定
 1. 処理済み巧拙・状態信号 (HMIプロト想定)
 2. 車載CAN信号 (スマホ内で巧拙・状態aarにて生成)
4. サブ画面化のため、以下2点の新規開発を行う
 1. 画面常駐としてAndroid フローティングアプリ方式として実装する
 2. 音声発話およびBGM再生のため、サービスとして実装する
5. 素材は現行のもの + 1キャラクター(新規作成)を使う

※懸念事項

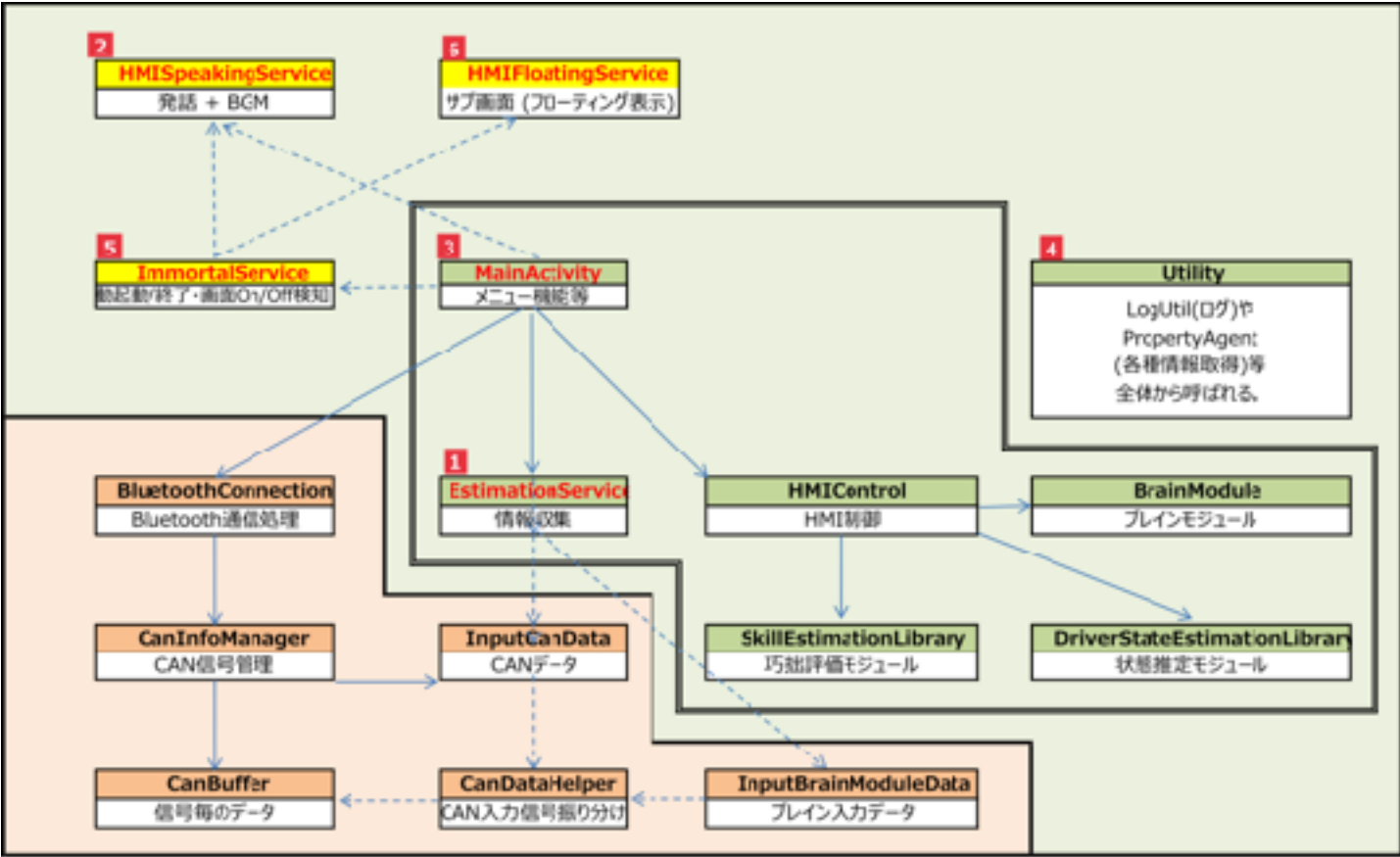
発話音量コントロールが難しい場合は、**フローティングアプリ**から、単体 Activity (下層画面は固定画像入れ替え)への切り替えの相談させてください。

現状、想定される改修項目は以下の通りとなります。

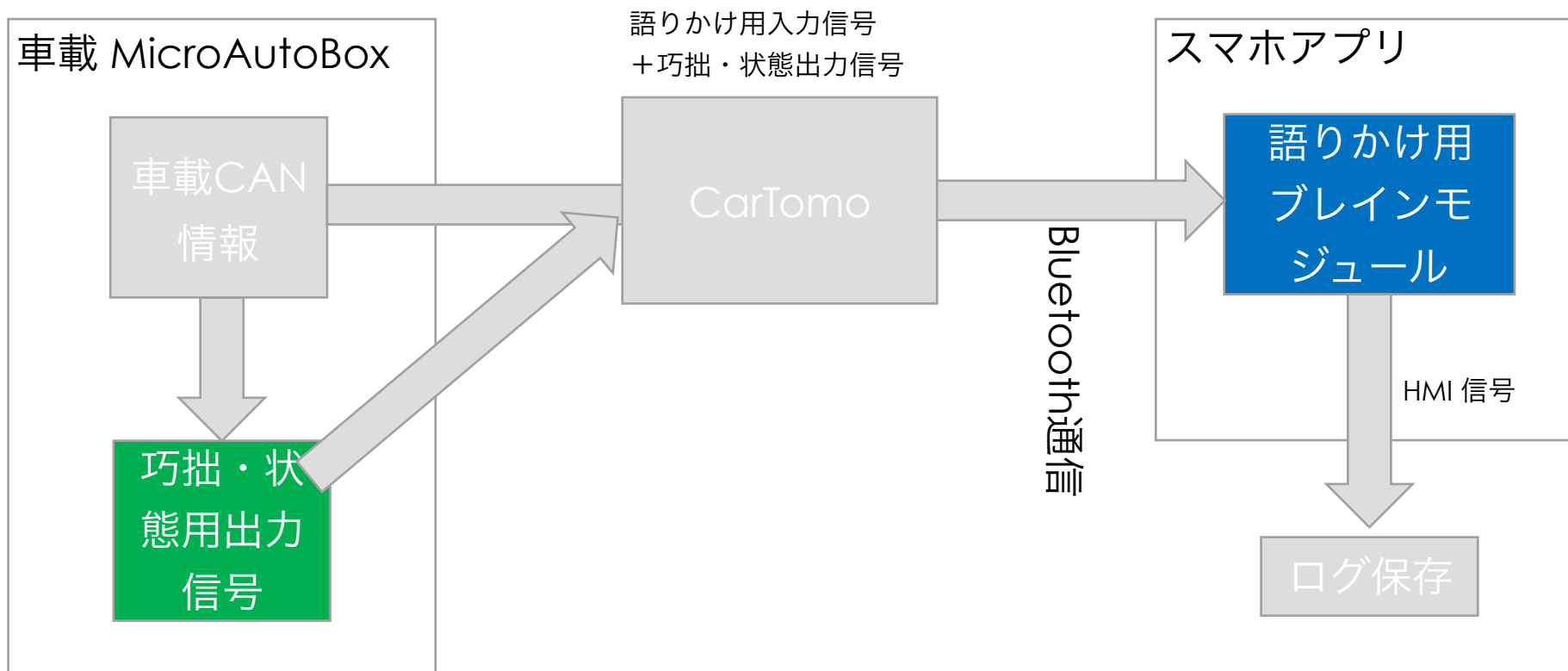
詳細の仕様等は打ち合わせにて確定させて頂ければと思います。

項目	想定イメージ
巧拙・状態aar信号対応	β2 最終版の巧拙・状態aarへの対応改修
音声サービス対応	発話 + BGM / メディアプレーヤ型サービス新規実装
UIシンプル化改修(設定画面)	HMI画面のシンプル化改修 1. メニュー機能 2. 種々設定 3. トレーナー選択・衣装変え等
ログ保存	CAN・巧拙・状態のログのスマホのローカルストレージへの保存(β2より移植)
起動・終了対応	起動・終了処理の改修実装 1. モジュール毎のスタートタイミングや、コントロール指示の修正を行う
UIシンプル化改修(サブ画面)	トレーナーサブ画面フローティングアプリとしての新規実装
素材作成	全身表示画像と瞬き・表情の素材作成 + 新規 1キャラクター / 車が語りかけているイメージをし易いもの

※発話音量コントロールが難しい場合は、**フローティングアプリ**から、単体 Activity (下層画面は固定画像入れ替え)への切り替えの相談させてください。



	内容		内容
1	HMIプロトの巧拙・状態aar最新版対応改修	4	巧拙・状態ログ保存のβ2より移植
2	発話 + BGM / メディアプレーヤ型サービス新規実装	5	起動・終了処理の改修実装
3	HMI画面のシンプル化改修	6	トレーナーサブ画面の新規実装



CAN信号方式は、下記の 1 or 2 を想定しております。

1. HMIプロト想定処理済み信号 (PCにて生成、Vector アプリ経由)
2. 車載CAN信号 (スマホ内で巧拙・状態aar等にて生成)

HMIプロトの実装としてどちらでも対応が可能ですが、それぞれ懸念事項があります。

現状 Vector <=> スマホ間のBluetooth通信において、アプリケーションが定義しているパケット定義(パケット長が1byte)による**最大 62信号**までになっているのを拡張する必要がある。

「ブレインモジュールのIF_20171002.xlsx」

基本通信仕様 / プロトタイプ信号入力 / 信号数拡張について

デバック画面にてモード設定を追加する

1. 「通常HMI画面 / ドライブモードのみ画面」の切り替え設定

1. 起動・終了対応 (検証)

1. IG-ON => アプリ起動 / IG-OFF => アプリ終了
2. 立ち上げ後黒画面 => Bluetooth デバイス検知 => サブ画面表示
3. Bluetooth デバイス切断 => 黒画面

1. 新規 1キャラクターのデザイン

1. 新規 1キャラクターのデザイン

1. ステップワゴンちゃん
2. 10月末までにラフ案の提案 (ゆめみ)
3. キャラクタのラフ検討 (HGT様)
 1. ドライバーと対等の位置付け



1. UIシンプル化改修(サブ画面) / デザイン等を含む
2. 音声サービス対応

1. 信号の名前/ID/bitレイアウト + 語りかけブレインソース (HGT様)
=> 10/13
2. 組み込み + ドライブモードのみ対応 (ゆめみ)
=> 10/20
3. サブ画面調査
=> 11/10目処